

日報（JST12時：時差なし 漁業実習準備編）

青空です。気温も少しずつ上がってきました。本科生は船酔い？と思っているかもしれませんが隠岐・浜田・隠岐島前を行ったり来たりの慣熟航海の成果があり元気です。これから益々パワーアップしていくことと思います。画像が鮮明でないのは人工衛星を経由するため画質をおとしているからです。ご容赦ください。

本日正午から、6時間毎に連続20回、船を停船させて水深約1000Mまでの水温・塩分濃度を測定する海洋観測が開始されます。

今回は漁業実習に開始に向け、準備を行っている様子をお届けします。

この漁業実習、水産庁から委託を受けた漁業調査が本来の目的です。漁獲された生物全ての魚種、大きさ、獲れた位置などを航海終了後水産庁に提出しているのです。



作業前、一航士からの安全指導！ 外での作業は気持ちがいいですね！！（寒くないですよ）



船尾では、マグロを漁獲するための枝縄（ブラン）について甲板長より説明を受けました！



ブラン（枝縄：釣り糸の事）は各色、色を付けて識別しやすいようになっています



これからどんどん実習がおもしろく楽しくなっていきます！



ブランがたくさんあるのがわかると思います。ブランの先には大きな釣り針がついていて、マグロだけでなくサメや時にはマンボウも釣れます。